

開講年度	令和 7 年度		開講課程	博士後期課程
授業名	健康科学特講			
開講キャンパス	紀三井寺	教室	基礎教育棟 3 階講義室 3 中講義室 3 0 3	
科目区分	専門科目	配当年次	1 年次	
必修・選択の別	選択	単位	1 単位	
対象学生	－	使用言語	日本語	
キーワード	地域住民、脊椎脊髄手術 (Spine and spinal cord surgery)、低侵襲脊椎外科手術 (minimally invasive spine surgery)、骨粗鬆症性椎体骨折 (osteoporotic vertebral fracture)、障がい者スポーツ、膠原病、続発性眼合併症、地域医療、心不全、耳鼻咽喉科頭頸部外科			
担当教員 （下線：科目責任者）	医	教授 保富宗城、准教授 岩田 慈、教授 荒木信一、教授 中川幸洋、准教授 田中才一、教授 幸田 剣、准教授 北野尚美、准教授 北端宏規		
	薬			
授業の概要	高齢化社会における疾患や地域における身近な疾患についてより専門的に学ぶことにより、課題の解決に向けて主導的に取り組む能力を養うとともに、高度先進医療・地域保健医療を推進する能力を培う。また、専門職医療人として必要な高度な臨床知識・技術を身につける。			
到達目標	□住民の健康課題解決に必要な社会環境整備や地域づくりについて理解する。 □脊椎脊髄病に関する低侵襲外科的治療について理解し、適切な適応を行うことができる。 □障がい者スポーツの有用性を高い知識レベルで理解する。 □膠原病の病態と最新治療を学習し、今後の課題を理解する。 □全身疾患による眼疾患（内服・点滴などによる眼合併疾患含む）の知識を修得する。 □我が国及び和歌山県における慢性腎臓病・透析医療の現況と問題点を理解する。 □超高齢化社会における心不全管理の重要性を高い知識レベルで理解する。 □耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患について専門性の高い知識レベルで理解する。			

授業計画	1. 耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患における感染免疫・腫瘍免疫・感覚免疫（保富宗城／1回）【7/14 6限】 耳鼻咽喉科頭頸部外科領域における宿主と病原微生物の相互作用による感染免疫・感覚免疫、及び頭頸部癌転移における腫瘍免疫に関する理解を深める。 2. SLEをはじめとした膠原病の病態と最新治療、今後の課題について（岩田 慈／1回）【7/14 7限】 膠原病の病因（遺伝的素因、環境因子）・病態と最新治療（特に生物学的製剤などの分子標的薬）を学習するとともに、今後の課題を理解する。 3. 地域における慢性腎臓病・透析医療の現況と課題（荒木信一／1回）【7/28 6限】 我が国および和歌山県における慢性腎臓病・透析医療の現況を理解し、今後の医療課題解決に向けた取り組みを考えていくための知識・技能を修得する。 4. 脊椎脊髄病に関する最新の低侵襲外科的治療について（中川幸洋／1回）【7/28 7限】 脊椎脊髄疾患の治療の現状及び低侵襲治療の概説を行い、新しい研究開発に向けた知識の修得を行う。 5. 全身疾患と眼疾患（田中オー／1回）【9/1 6限】 ジェネラリストとして全身疾患による眼疾患（内服・点滴などによる眼疾患含む）の知識を修得する。 6. 障がい者スポーツの有用性と障害者アスリートにおける医科学的課題（幸田 剣／1回）【9/1 7限】 障がい者スポーツについて概説し、障害者アスリートにおける医科学的課題やスポーツの有用性について解説する。 7. 地域住民の健康状態とその決定要因B（北野尚美／1回）【9/8 6限】 ライフコースにそった健康課題解決のアプローチとして、健康関連データの利活用における最近の動向について考察する。 8. 心不全の診断と治療（北端宏規／1回）【9/8 7限】 各心不全ステージ（A, B, C, D）に応じた診断法、適切な治療選択について講義する。
授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	【教科書】授業計画1・5・6・7 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 授業計画2 「リウマチ病学テキスト 第3版」 編集：日本リウマチ財団教育研修委員会・日本リウマチ学会生涯教育委員会 出版社：南江堂 授業計画4 「標準整形外科学 第14版」 著者：井樋栄二 出版社：医学書院 【参考書】授業計画1 「新耳鼻咽喉科学」著者：切替一郎 監修・編集：野村恭也、加我君孝 出版社：南山堂 英文誌「Laryngoscope」 出版社：Wiley Online Library